

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

TSUKEMEN CONCERT HAPPY キッチン

2022 年 1 月 30 日／コラーレ

TAIRIK さん（ヴァイオリン、ヴィオラ）、SUGURU さん（ピアノ）、KENTA さん（ヴァイオリン）の 3 人による TSUKEMEN コンサートを観てきました。音の創作料理ということで、前半は二つの曲をミックスした曲やクラシックのメドレー曲、そしてジャズ等が素敵なアレンジで演奏され、3 人の演奏パフォーマンスやトークに引き込まれました。

最初に「くるみ割り人形」の軽やかなメドレーから始まりました。そして、「ラ・ラ・カノン」は「ラ・ラ・ランド」と「カノン」のミックス。「ゴジラヴェル」は映画「ゴジラ」のテーマ曲と「ラヴェルのピアノ協奏曲」のミックスという具合に面白い曲名が付いており、それぞれの曲のテーマ的部分を融合させた音楽の創作料理が披露されました。「枯葉」や「スワン・レイク・シャレード」（バレエ音楽「白鳥の湖」とオードリーの映画「シャレード」をミックスした曲）では、TAIRIK さんがヴァイオリンをヴィオラに持ち替え、KENTA さんのヴァイオリンがとてもジャジーで良かったです。前半最後の「ピアソラ MIX」は、ピアソラの「リベルタンゴ」「アディオス・ノニーニ」等の有名な曲がメドレーで演奏され、ピアノやヴァイオリンの魅力が伝わってきました。

後半は TSUKEMEN メンバーがそれぞれ作曲した曲で構成されており、明るい曲調の「HAPPY キッチン」から始まりました。「蟬時雨」ではヴァイオリンで蚊が飛ぶ音や空に花火が上がる音を表現して、会場を沸かせました。「HAYABUSA」では KENTA さんさんが二胡を演奏し、多彩な一面に驚かされました。アンコールはチック・コリアの「スペイン」。3 人がそれぞれ技術を披露したソロの部分で、会場から拍手喝采が起こりました。本当に気持ちが HAPPY になるコンサートでした。

＜ヒスイの森／50 代女性＞

コレクション展 まなざしのゆくえ

2022 年 2 月 27 日／黒部市美術館

2 月も末に近づき春もすぐそこという気配とは裏腹に、冬型の気圧配置も最後の大暴れと言わんばかりの積雪に見舞われた。前日の晴天をはさみ、再びどんよりと曇り空に。こんな日は美術鑑賞でも。

黒部市美術館を訪れると美術館所有の版画の企画展「コレクション展 まなざしのゆくえ」が開催されていた。日常出会う植物や石ころ、詩、メロディー、冬の空などを作家がどのように見つめたのかが、作品を通して紹介されていた。

メゾチント版画の丹阿弥丹波子氏や浜口陽三氏らの作品には単色ながらも緻密な陰影で色彩感が表されていて、この版画のもつ奥深い魅力にとても驚かされた。また池田満寿夫氏の銅版画「色の中の婦人」と題された作品もあった。美術だけにとどまらず、文学では芥川賞を受賞し、その多彩さでテレビのバラエティー番組やお茶の間でも人気のあった氏の作品を黒部市が所有していることに驚いた。他にも様々な技法による作品も展示され、表現の全く異なる版画の魅力に、深く吸い込まれるような感覚を覚えた。

そんな中で私が特に印象に残った作品が、版画作家の柄澤斎氏と作詞家の岡田隆彦氏の合作「詩画集植物の睡眠」。私は鑑賞にあたってとても視力が悪く極度の近眼かつ老眼、眼鏡を外して作品から 15 cm 程の距離でやっと焦点が合う。ただこの距離だとすこぶるよく見える。この近さで見える無数の曲線が放つ強烈なエネルギーが、見る者の心を大きくかき混ぜる。言葉を発しないはずの植物の声が聞こえそうなほど。

観賞を終え外に出ると、どんよりとした雲が空を埋めていた。伸びた植物の葉先が空をかき混ぜるように揺れ、まるで植物の意思を聞いた気がした。

＜グリーンマイルみたい／男性＞

4月29日
昭和の日



プリンセスQ P ズバリ占う！あなたの4月の運勢



【1 月生】周囲から注目が集まる星回り。恋愛は苦しい恋を強いられる。金運平穩。仕事は成功の兆し、成果が出る。
【2 月生】素直な気持ちになる星回り。恋愛運絶好調。金運は以前した親切がお礼の品や金銭で戻る。仕事は念願叶う。
【3 月生】気が散ってしまう星回り。恋愛は人の視線が気になる。金運平穩。仕事は暗雲あり、負けずに頑張れば吉。
【4 月生】目から鱗が落ちる体験をする星回り。恋愛は危ない恋に注意。金運好調。仕事は波乱、信頼できる人に相談。
【5 月生】健康的に過ごせる星回り。睡眠の質を上げよ。恋愛は進展を見る吉。金運良好。仕事は信頼度がアップし吉。
【6 月生】積極性が幸運につながる星回り。恋愛運好調。金運絶好調。仕事は秩序が乱れる、冷静さをキープして吉。

※恋愛運は愛情運の一部です。恋愛運が絶好調なら愛情運も凄く良いと思ってください。老若男女、既婚の方もお楽しみください。

編集後記

- もう忘れてしまいそうですが、2 年前コロナ禍で国民は国から 10 万円給付されました。使い道は食品・日用品と貯蓄に集中したとか。あの 10 万円を私はどこにどうしたのか思い出せない。あなたはどうですか？ ＜み＞
- ウチでは新聞紙は生活に欠かせない必須アイテム。情報入手した後は生ゴミを包み、ペットの排泄物を包み、清掃にもお役立ち！ こんな重宝品が今や「絶滅危惧種」なんですと！ 「新聞で包む、下敷きにする」文化に未来はないのか!? ＜パペボ＞
- 先般コロナワクチン 3 回目の集団接種を受けてきました。モデルナ製。受ける前後にたっぷり水分補給をと言われましたが副反応が出てしまい、接種翌日は微熱と体中が筋肉痛でしたが、1 日だけで回復。これで免疫力 UP！と願いたい。 ＜布袋＞
- 最近姪っ子の間で流行っている事は、あやとり。ママの携帯を使って「あやとりできる？」ってよく質問メールを送ってきます。ちょっと気になってやってみたのですが、体が覚えているもので勝手に手が動く！ でも何を作っているのか分からない（笑）。 ＜月がふたつ＞
- 4 月は春真っ盛り。ピンクや黄色、色とりどりの花が喜びを競うように咲き始めます。独特のほろ苦さにデトックス効果が感じられる山菜も始めます。空に向かって背伸びをしたいのは人も植物も同じかな。 ＜ニョキニョキ＞
- 昨年夏から実施していた「もっと地元で愉しもう！ 県民割引キャンペーン」を使ってみました。申込み手続きに面倒なこともなく、スムーズに温泉旅館に到着。こんな機会がないと、県内で宿泊することもあまりないからね。ゆったりと温泉を満喫出来ました。 ＜どら＞



わたしのたび紀行

いきの つしま ことう
沓岐・対馬・五島の旅 ①（全 3 回）

古代からの架け橋、沓岐・対馬

■ 3 泊 4 日で巡る久々の県外旅行

第 5 波のコロナ禍が沈静化している昨年 12 月上旬。念願の「沓岐・対馬・五島の旅」が実現できました。富山空港の朝 1 便で羽田を経由し、福岡空港着。博多港から、ジェットfoil で沓岐水道を渡る約 1 時間の船旅で、17 時に沓岐の郷ノ浦港に到着。1 日目は沓岐泊です。

■ 沓岐で名所・旧跡巡り

2 日目は沓岐観光。沓岐島は、東西 15 km、南北 17 km で、ほぼ円形。福岡県と対馬の中間に浮かぶ自然豊かな歴史の島です。『魏志倭人伝』にも登場し、名所・旧跡が数多く点在します。まずは代表スポット「猿岩」へ。海岸には、高さ 45 m の猿にそっくりな巨大な玄武岩がひときわ目立ってそびえ立っています。まさに大自然が生み出した奇岩。この近くには、戦艦土佐の主砲を移築してつくられた 7 階建ての地下施設「黒崎砲台跡」もあります。

断崖絶壁の光景が約 1 km 続く「左京鼻」は、福井の東尋坊のよう。海岸の芝生には、玄界灘からの強い風に抗して、だるま菊が咲いていました。同じ地域にあるのが、海中に祀られている「はらぼげ地蔵」。とても小さくて可愛い 6 体のお地蔵さんで、お腹に 3 cm 程の穴が開いていました。そして次は、故黒川紀章氏がデザインした「沓岐市立一支国博物館」へ。周囲の山並みに沿って曲線を描く天然芝の屋根が印象的な建物で、『魏志倭人伝』に記される「一支国」の王都原の辻遺跡もあり、弥生時代のロマンに浸れた時間でした。

午後からは、郷ノ浦港から約 2 時間のフェリー移動。玄界灘の荒波に船酔いぎみで、対馬の厳原港に到着。

■ 日本で朝鮮半島に最も近い対馬の自然と文化

対馬海峡に浮かぶ対馬島は、平地が少なく、島の約 90％が山地で、各地に原生林が多く残されています。ツシマヤマネコは日本ではここでしか見られない大陸系生物で、ツシマテンなど世界で対馬にしかいない固有の生物からなる独特な生態系があります。

対馬は日本で朝鮮半島に最も近く、青銅器文化、稲作、仏教、漢字などを伝える日本の窓口でした。また朝鮮半島との間では古くから貿易などの交流が盛んに行われたことで、数多くの書物、仏像、朝鮮式山城の金田遺跡や文化財が残ります。江戸時代には 12 回にわたり、朝鮮通信使が対馬を経由し江戸に来ていました。

■ 対馬で名所・旧跡巡り

対馬が気に入りに居ついたという韓国人の案内で、対馬の名所巡りです。対馬の上下島を結ぶ「万関橋」を車窓から見ました。この橋は明治後期、南下政策をとるロシアとの戦争機運が高まり、日本海軍が水雷艇を対馬海峡東水道に出撃させるため、明治 34 年に浅茅湾と三浦湾の間に開削した万関瀬戸にかかっています。

日本屈指のリアス式海岸・浅茅湾の最深部に鎮座する「和多都美神社」は、海幸山幸伝承と竜宮伝説に彩られ、海の神である彦火火出見尊と豊玉姫命を祀っています。本殿へ向かう 5 つの鳥居のうち 2 つは海中に立ち、潮の干満により大きく情景が変化し、原生林に覆われた社殿は荘厳です。

続いて訪れたのは「烏帽子岳展望台」。標高 176m の烏帽子岳山頂にある 360 度のパノラマ展望台です。駐車場から展望台まで 145 段の階段を登ると、東に対馬海峡、西に朝鮮海峡が広がり、複雑な入り江と無数の島々が織りなす景観が一望できました。この日は快晴に恵まれ、対馬から 49.5 km 離れた韓国の馬山・釜山の山々が遠望でき、西に沈みゆく夕陽が綺麗で印象的でした。

この日は対馬泊。対馬海峡を望むホテルでの夕食は、目の前で焼きあがる石焼き会席に舌鼓です。 【旅は次号へ続きます】
＜K・N／70 代男性＞



新聞部からのおてがみ

いよいよ新年度。ピカピカの 1 年生の姿は見ているこちらも微笑ましく明るい気持ちにしてくれます。心機一転何か新しいことに挑戦してみたくもなりますね。4 月は語学講座のテキストがよく売れるそうです。

今月の特集は大人のピアノ「ドレミの会」にオジャマしました。和気あいあいの活動の様子が伝わってきます。独りでコツコツも良いのですが仲間と一緒になら、ピアノチャレンジも楽しいかもしれません。ピアノに興味のお有りの方は覗いてみませんか。 ＜か＞